



安行東中だより

より賢く より美しく よりたくましく

川口市立安行東中学校
〒334-0059 川口市大字安行 34 番地
TEL048-294-2789 FAX 048-294-2796
令和4年度 No.3 発行 令和4年6月17日

積極的に関わろうとすることで得られるもの

校長 山本 智広

梅雨に入り、学校敷地内の樹々の成長も著しく、夜には蛙の楽しげな鳴き声が響き渡り、命の躍動を感じさせる季節になってきました。

さて、5月から6月にかけて、3年生は2泊3日の奈良・京都への修学旅行、2学年は福祉学習（ポッチャ体験）、1学年は牧場への校外学習、全校生徒では生徒総会と体験的な学習活動が多く行われました。体験的な学習活動の効果の一つに「頭の中では知っている、わかっている」といった事実が、実際に「人・もの・出来事」とのふれあいを通して実感の伴った納得感のある学び、自分自身が獲得した学力へと変わることがあげられると思います。どの学年の生徒も「人・もの・出来事」との積極的な関わりの中で気づき、学ぼうとする姿がとても多く見受けられました。とても素晴らしいことだと思います。また、その体験が一人一人の持ち味によって異なった様々ならえ方へと広がったり、そこから新たな問いや好奇心が生まれたりしていました。その発想はその生徒の個性を生かした「強み」につながると私は考えています。ぜひ、大切に育って行って欲しいと思います。紙面の都合もあり、一部となりますが、本紙に子どもたちのそれぞれの活動の振り返りを掲載いたしました。今後も子どもたちの声を保護者、地域の皆様にも積極的にお届けしたいと考えています。

また、生徒昇降口前にてソーシャルディスタンス、マスク着用など感染対策をした上でPTAと生徒による「朝のあいさつ運動」を再開いたしました。参加していただいた3年1組の保護者の皆様、執行部の皆様ありがとうございました。昨年度、生徒との個人面談をしたときに、マスクの常時着用でお互いに表情がわかりにくく、コミュニケーションへの不安を抱く生徒が多くいました。心の中の気持ちは形に見えませんが、行動にうつすことで相手に伝える、みんなでその思いを共有することで伝わり合うということをおアドバイスしました。普段の生活では何気ないことかも知れませんが、私は「あいさつ」とは相手を気にかけ、積極的に関わろうとする気持ちの表れ、相手を大切にしようとする意思表示であると考えています。コロナ禍の中でもありますし、気持ちの表し方として小さな声やえしゃくでも、手を振ったりすることでも構わないと思います。自ら行動にうつそうとする、お互いにその行動を肯定的に受け止めようとするのが重要だと感じています。日頃から、お互いに相手の存在を気にかけ、大切に思い合える「気持ちのキャッチボール」ができる、そして安心できる生活をみんなで送れることを切に願っています。

以前、心理セラピストの方から「物事は事実としてただあるだけで、その人がその物事とどう関わるかによって、その人にとって、その物事への意味が生まれる・変わる」というふうに考えているという話を伺ったことがあります。教育活動においても同様なことを私は感じています。子どもたちが普段の授業から行事などといったすべての学習活動を作り上げる当事者として「この機会をどのような取組にしたいか、その取組からどんなことを得たいか、味わいたいか」などといった気持ちや考えを持って参加することが、学びの質をあげることにつながるように思います。生徒自身が取組に参加する気持ちや考えを持ったり、その成果を振り返ることでの気づきを大切にしたりする学校教育を今後も進めてまいります。同時に、子どもたちの学習活動の様子や振り返りを通して、教職員の指導及び支援などについても見直しと改善を図り、子どもたちとともに学び、寄り添った教育活動の実践を進めてまいります。